

大学院ゼミ研究テーマ

井頭ゼミ

教員名 (井頭 昌彦)

氏名	主・副	学年	研究テーマ
大和 慶之	副	M1	ヘーゲル『精神現象学』「B 自己意識」章
山岸 諒己	副	M1	親の責任に関するエスノメソドロジー
若松 孝佑	主	M1	メタ形而上学(分析形而上学の主題と方法)
南園 直弥	主	M2	メタ形而上学／性質の形而上学
堀永 哲史	副	M2	ヘーゲル『大論理学』における反省論
岸 俊輔	主	M3	メタ哲学、特に哲学方法論
尹 叙軟	主	M3	ウィトゲンシュタイン哲学における独我論
真田 美沙	副	D3	ヘーゲル
魏 偉	副	D3	環境倫理学
小倉 翔	主	D3	分析哲学（認識論）／アプリアリな正当化
清水 雄也	主	D4	社会科学における因果性
横山 陸	副	D6	現象学

大河内ゼミ

教員名 (大河内 泰樹)

氏名	主・副	学年	研究テーマ
北田 智美	主	M1	ヘーゲル『精神現象学』における自己と承認
久富 峻介	主	M1	ヘーゲル『精神現象学』「自己意識」について
竹田 真登	主	M1	マルクス
大和 慶之	主	M1	ヘーゲル
牧田 凌平	主	M1	マルクス
岩田 健佑	主	M2	ヘーゲル『精神現象学』の「観察する理性」について
稲垣 生真	主	M2	フッサール時間論
堀永 哲史	主	M2	ヘーゲル『大論理学』における反省論
市川 裕之	主	M3	ホネット
生田目 理恵	副	M3	アレント
小島 雅史	主	M3	フッサール『危機』書における生世界概念と明証性
吉田 尚生	主	M3	イエナ期ヘーゲル研究
志田 圭将	主	M3	アドルノの社会哲学
太田 浩之	主	D1	アダム・スミスにおける自然概念
上田 尚徳	主	D1	ヘーゲル大論理学の研究
岡崎 佑香	主	D3	ニュートンとヘーゲル
岩井 洋子	副	D3	ヘーゲル
真田 美沙	主	D3	ヘーゲル
守 博紀	副	D3	アドルノを通じた言語哲学・美学・倫理学
王 燕敏	主	D4	承認論に基づく批判的教育理論の構築-ホネット承認論の教育哲学への応用-
中島 新	主	D4	シェリング自然哲学
岡崎 龍	主	D4	ヘーゲルの主体形成論
額賀 京介	副	D5	フロム
隅田 聡一郎	副	D5	マルクス
瀬川 真吾	主	D6	ドイツの生命倫理学
横山 陸	主	D6	シェーラーなど
塚越 健司	主	D8	フーコー
色摩 泰匡	副	D9	ヘーゲル

加藤ゼミ

教員名 (加藤 泰史)

氏名	主・副	学年	研究テーマ
遠藤 勝愛	主	M1	徳倫理学と政治哲学

高橋 萌	主	M1	政治哲学、アーレントについて
伊藤 茜	主	M2	正義論、特にシュクラーの研究
鈴木 学	主	M3	石田忠「反原爆の思想」とカントの道德哲学
國本 哲史	副	D1	道德社会学
那波 泰輔	副	D1	「戦争体験」の形成と変容
秋葉 峻介	主	D1	生命倫理学（安楽死／尊厳死）
高木 駿	主	D3	カント美学における多元主義
魏 偉	主	D3	環境倫理学
小倉 翔	副	D3	分析哲学（認識論）/アプリアリな正当化
王 燕敏	副	D4	承認論に基づく批判的教育理論の構築
横山 陸	副	D6	シェーラーなど
瀬川 真吾	副	D6	ドイツの生命倫理学
上野 大樹	主	PD	共和政の概念史、18世紀英仏比較思想史

森村ゼミ

教員名（森村 敏己）

氏名	主・副	学年	研究テーマ
河淵 悠希	副	M1	マケドニアにおけるナショナリズムの形成
杉本 諒	副	M1	ロシア民話絵本
庄沙 智子	主	M2	18世紀フランス史
草柳 貴恵	副	M2	東欧におけるロマ
駒野 泰玄	主	M2	ドイツ中世後期における騎士のステータス
村山 淳	副	M2	ル＝グイン研究
高橋 駿仁	主	D1	碑文・文芸アカデミーとニコラ・フレレ
増永 菜生	主	D2	ルネサンス期イタリアの人文主義と政治
田中 資太	副	D3	スペイン領ネーデルランドの教会改革
以下は留学中			
萩田 翔太郎	主	D3	19世紀初頭のイギリスの労働者文化
春山 雄紀	副	D3	18世紀ボヘミアの社会政策
橋詰 かすみ	主	D3	ルソーとジュネーヴ共和国